

スマホ用 奄美の樹木図鑑

Main trees on
Amami Islands

鹿児島大学総合研究博物館

鈴木英治

協力 鹿児島大学 島しょ研 奄美分室

2016年1月

Ver. 1.1

目次

<u>(1) 初めに</u>	2
<u>(2) 葉の基本構造</u>	3
<u>(3) 葉の形による検索表</u>	6
<u>(4) 種ごとの説明 (アイウエオ順)</u>	16
<u>ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行</u>	
<u>ハ行 マ行 ヤ行以下</u>	
<u>(5) アイウエオ順の種名リスト</u>	126
<u>(6) 科名順の種名リスト</u>	129
<u>(7) 生息地別種名リスト</u>	135
<u>(8) 学名一和名 対応表</u>	138
<u>(9) 写真撮影日・場所</u>	143
<u>(10) 参考図書</u>	143
<u>(11) あとがき</u>	144

(1) 初めに [\(目次へ\)](#)

この図鑑は奄美群島に分布するおもな樹木についてまとめました。スマートフォンなどに入れて閲覧できるようにしています。

写真は種名のアイウエオ順に並んでいます。



検索表・アイウエオ順・科別リスト・目次に戻ります。

スケールは 1cm

生息地や分布範囲

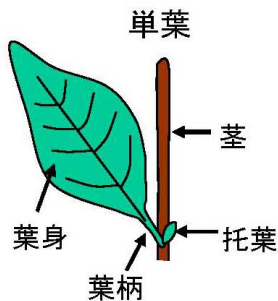
[葉の形による検索表](#)、[アイウエオ順](#)、[科名順](#)のリストがあり、それぞれのリストから種の説明に行くことができます。

(2) 葉の基本構造

([目次へ](#))

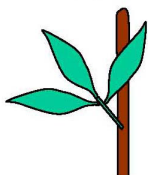
葉には、枝につながる**葉柄**と広い部分の**葉身**があります。葉柄基部に小さな葉のような**托葉**をつける種もあります。

右図のように葉身が 1 つならば**単葉**、下図のように複数あれば**複葉**です。

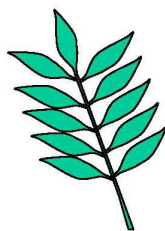


複葉は葉身がいくつかの**羽片**に分かれているかで、3 つならば三出複葉、鳥の羽根のように 1 回分れていれば一回羽状複葉。羽片が再度分かれていれば 2 回羽状複葉。

三出複葉



一回羽状複葉



二回羽状複葉



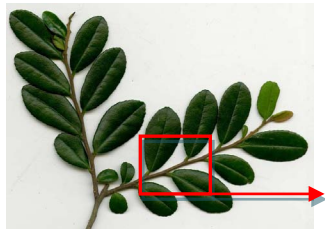
複葉と単葉が集まった小枝の区別:時々難しいことがあります、以下の基準で見分けましょう。



複葉は、元々1枚の葉が分かれたので、小葉全部が1平面にあります。



葉が立体的に色々な方向に出ているので、それぞれが単葉です。



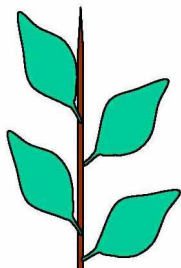
ただし平面的に広がる単葉もあり、複葉と間違えやすいです。



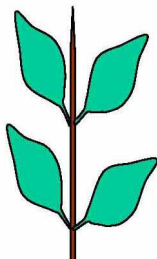
左の植物の葉の基部を拡大すると芽があるので、小さい葉それぞれが単葉とわかります。

つき方：葉(複葉の場合その全体)が1カ所から1枚ならば
互生、1カ所で2枚出ていれば対生、3枚以上ならば輪生。

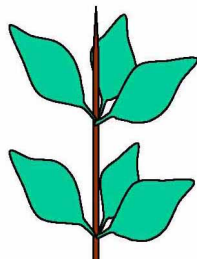
互生



対生



輪生



葉の縁：ギザギザならば
鋸齒縁、なめらかならば全
縁

葉脈：2本の側脈が太くけれ
ば3主脈。

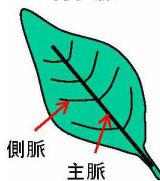
全縁



鋸齒縁



羽状脈



三主脈



(3) 葉の形による検索表

全体	つき方	葉の縁	葉に毛	タイプ
複葉	対生			A _____
	互生			B _____
単葉	輪生	全縁		C _____
	対生	全縁	無	D _____
			有	E _____
		鋸歯	無	F _____
			有	G _____
	互生	全縁	無	H _____
			有	I _____
		鋸歯	無	J _____
有			K _____	

[\(目次へ\)](#)

次ページの表にある**葉身**と**高さ**は、柄を含まない葉の長さ(cm) や、木の最大高(m)のおよその目安を示しています。ただし、長くなる葉も成長途中では短いですし、高木も幼木は低いので注意が必要です。

A. 複葉で対生 鋸齒縁

葉身	高さ	その他の特徴	種名
20	5	三出複葉で無毛	ショウベンノキ
10	3	掌状複葉で有毛、薄葉	ニンジンボク
20	5	一回羽状複葉、厚い葉	ゴンズイ
30	10	一回羽状複葉、薄い葉	シマタゴ

B. 複葉で互生

葉身	高さ	その他の特徴	種名
2	0.5	三出・全縁	メドハギ
5	1	三出・全縁	シバハギ
15	15	三出・全縁	ギョボク
15	15	三出・鋸齒	アカギ
20	10	掌状複葉	フカノキ
30	7	羽状・全縁	ハゼノキ
100	2	羽状・全縁	ソテツ
10	1	羽状・トゲ有鋸齒	アマミザンショウ
30	10	羽状・トゲ有鋸齒	カラスザンショウ
30	5	羽状・軸に翼	ヌルデ
30	5	鋸齒。先の方が幅広	ヤンバルアワブキ
20	4	2回羽状・	ギンネム
40	15	2回羽状・トゲなし	センダン

50

5 2 回羽状・トゲあり

ウラジロタラノキC. 単葉・輪生

葉身	高さ	その他の特徴	種名
5	2	芽や小枝には毛	<u>サクラソツジ</u>

D. 単葉・対生・全縁・無毛

葉身	高さ	その他の特徴	種名
3	5	樹皮赤、側脈見えず	<u>アデク</u>
3	5	3 主脈がある	<u>シバニッケイ</u>
5	5	樹皮灰白、側脈見えず	<u>ネズミモチ</u>
10	10	上種に似て葉が大きい	<u>シマモクセイ</u>
10	5	葉柄が太く茶色	<u>サンゴジュ</u>
10	5	斜めに切った筒状の托葉	<u>クチナシ</u>
10	5	細くとがった托葉	<u>シロミミズ</u>
10	4	3 主脈がある	<u>ミヤマハシカンボク</u>
10	2	托葉あり。枝が緑	<u>ボチヨウジ</u>
15	5	三角形の托葉。薄葉	<u>アカミズギ</u>

E. 単葉・対生・全縁・有毛

葉身	高さ	その他の特徴	種名
5	1	砂丘植物。葉に匂い	<u>ハマゴウ</u>
10	5	薄い葉 (シマサルスベリ)	
10	2	3 主脈、陽地	<u>ノボタン</u>
10	1	3 主脈、日陰	<u>ハシカンボク</u>
10	1	裏に毛多い	<u>ケハダルリミノキ</u>
10	1	毛少ない	<u>リュウキュウルリミノキ</u>
10	2	半ツル性	<u>コンロンカ</u>
15	5	陽地	<u>アマクサギ</u>

F. 単葉・対生・鋸歯・無毛

葉身	高さ	その他の特徴	種名
7	5	葉をちぎると臭い	<u>ハマクサギ</u>
10	10	3裂する葉がある	<u>シマウリカエデ</u>
5	5	鋸歯小さく丸い葉	<u>マサキ</u>
10	1	鋸歯大きく細い葉	<u>センリョウ</u>
15	3	鋸歯大きく大葉	<u>ナンゴクアオキ</u>
15	5	葉柄が太く茶色	<u>サンゴジュ</u>

G. 単葉・対生・鋸歯・有毛 落葉樹

葉身	高さ	その他の特徴	種名
5	2	茎が中空	オオシマウツギ
10	5	葉先が長い	オオムラサキシキブ

H.単葉・互生・全縁・無毛

H-1. 針葉

葉身	高さ	その他の特徴	種名
10	15	新葉	リュウキュウマツ

H-2. 三主脈がある。折ると白い樹液がでる。

10	10	小さく厚い葉	ガジュマル
15	10	小判型の葉	アコウ
15	5	幅広く薄い葉	イヌビワ
15	10	細長く厚い葉	ハマイヌビワ

H-3. 三主脈がある。樹液でない。葉にシナモンの様な臭い

10	15	葉縁が少し波打つ	クスノキ
15	10	対生に近い。	ヤブニッケイ

H-4. 三主脈がある。樹液でない。時々3裂する葉がある。

15	10	幹は白っぽい	カクレミノ
----	----	--------	-----------------------

H-5. 丸い葉

5	5	一回羽状複葉のよう に見える。	オオシマコバンノ キ
---	---	--------------------	--------------------------------

H-6. 楕円形の葉

葉身	高さ	その他の特徴	種名
7	20	葉が硬く、細脈見える	イスノキ
7	10	小判型の葉。細脈ほとんど見えず。葉柄に赤味がある。	クロガネモチ
7	20	上に似るが幅狭い。	モチノキ
7	10	裏が金色を帯びる	オキナワジイ
10	5	柿の葉に似るが、葉の基部左右不対称	カキバカンコノキ
10	5	上に似るが、葉裏が白っぽい	ウラジロカンコノキ
10	2	小枝の基部が膨れる。	シシアクチ
10	10	上に似るが、大きくなる。	モクタチバナ
10	5	葉が薄く波打つ。小枝が簡単に折れる。	ボロボロノキ
10	20	側脈明瞭。枝が緑。	タブノキ

H-7. 細長い葉

葉身	高さ	その他特徴	種名
5	5	倒卵形の葉	カンコノキ
5	10	葉柄赤い。厚い葉	モッコク

10	5	薄い葉	シマサルスベリ
10	10	葉幅約1cm	イヌマキ
15	10	葉幅約2cm	タイミンタチバナ
10	10	芽が三日月型	サカキ
10	5	ちぎると臭い。	トベラ
15	20	葉の縁が少し波打つ	ホソバタブ
20	10	葉の縁が波打ち 側脈が裏に突出	バリバリノキ
15	10	細脈目立つ	ヒメユズリハ

I. 単葉・互生・全縁・有毛

I-1. 丸い葉

葉身	高さ	その他特徴	種名
10	5	裏が銀色。半ツル性	マルバグミ
20	10	葉の付け根に蜜腺	アカメガシワ
15	5	山の道端	サキシマフヨウ
15	5	海岸林	オオハマボウ
20	5	葉柄が葉身の途中につく(蓮の葉状)	オオバギ

I-2. 細長い葉

10	5	薄い葉	シマサルスベリ
----	---	-----	-------------------------

15	5	裏は薄茶色の毛密生	ハマビワ
15	10	折ると白い樹液	アカテツ
10	5	折ると白い樹液 ざらつき薄い葉	ホソバムクイヌビロ ワ
20	5	折ると白い樹液	アカメイスビロ

J. 単葉・互生・鋸歯縁・無毛

J-1. 丸い葉

葉身	高さ	その他特徴	種名
4	5	表に光沢	アマシバ
4	3	葉縁が裏に曲がる	ハマヒサカキ
15	15	ハート型の葉、柄が長い	イイギリ

J-2. 楕円形で薄い葉

葉身	高さ	その他特徴	種名
10	5	葉先端が長い	ヤマヒハツ
5	7	枝が赤茶色	エゴノキ
10	10	赤い古葉混在	コバンモチ
10	3	鋸歯が大きい	シマイズセンリョウ
10	2	葉柄が長い	リュウキュウハナйкаダ
10	5	葉が薄い。	ヤエヤマネコノチチ
15	5	葉の先端が長い	ナンバンキブシ

J-3.楕円形で厚い葉

葉身	高さ	その他特徴	種名
5	2	厚い葉	ギーマ
10	1	葉縁に腺点	マンリョウ
5	10	光沢ない	オオシイバモチ
5	10	厚く光沢のある葉	クロバイ
5	10	芽が三日月型	ヒサカキ
5	10	芽に毛がある	サザンカ
10	10	厚く光沢あり	ヤブツバキ
10	5	細脈が目立つ。	シャリンバイ

J-4.細長い葉

葉身	高さ	その他特徴	種名
100	3	海岸林	アダン
10	20	葉の上半部に鋸歯	アマミアラカシ
15	20	上の種に似て裏が 白っぽい	ウラジログアシ
10	20	新葉が赤い	イジュ
10	20	赤い古葉が混ざる	ホルトノキ
10	5	裏が白っぽい	ミズバイ

K. 単葉・互生・鋸齒縁・有毛

葉身	高さ	その他特徴	種名
10	10	裏が白毛密生し、 左右不对称の葉	<u>ウラジロエノキ</u>
15	10	3 主脈が長い	<u>ハドノキ</u>
15	15	不規則に切れ込む	<u>シマグワ</u>
15	10	上に似るが毛が多 い	<u>カジノキ</u>
20	5	茶色の毛が多い	<u>ヤマビワ</u>

(4) 種ごとの説明 アイウエオ順 ([目次へ](#))

アカギ *Bischofia javanica* (トウダイグサ科)



三出複葉・互生・鋸
歯縁・無毛・常緑高
木。三出複葉が互生
する種で鋸歯があれば本種、なければギ
ヨボク、三出複葉が
対生ならばショウベ
ンノキ。樹皮は赤褐
色。

人家近くに植栽樹と逸出した木が奄美群島以南の地域に見られるが、もとは台湾からオーストラリア産。

検
索
表

アイ
ウ
エ
オ

科
別

目
次
へ

アカテツ *Pouteria obovata* (アカテツ科)



単葉・互生・全縁・有毛・常緑高木。裏に赤茶色の毛が密生し、枝を折ると白い樹液が出る(葉が似たハマビワは樹液が出ない)。海岸林に多い。アカテツ科は熱帯に多い樹木で、本種もトカラから熱帯アジアに広く分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

アカミズキ *Wendlandia formosana* (アカネ科)



単葉・対生・全縁・ほぼ無毛・常緑低木。常緑だが薄い葉。写真のように葉の付け根に、三角形の托葉がある。樹皮は赤褐色。大きな円錐形花序を頂生し、白い花をつける。台湾(学名の *formosa* は台湾の意)から奄美大島まで分布し、奄美が北限だが林内～林道沿いに多い普通種。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

アカメイヌビワ *Ficus benguetensis* (クワ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・対生・全縁・少し毛・常緑中高木。薄く大きい葉。ちぎると白い樹液が出る。新葉は赤みがる。

二次林にあるが比較的まれ。奄美大島が北限でフィリピン・台湾まで分布。

アカメガシワ *Mallotus japonicus* (トウダイグサ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・全縁・有毛・落葉小高木。葉の裏全体に毛が多い。表面の葉柄がつく部分に蜜腺ができ、アリがよく集まる。雌雄異株で上の写真は雄株。根から萌芽も増える。明るい場所に多く、本州から沖縄、中国まで分布。

アコウ *Ficus superba* (クワ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・全縁・無毛・常緑高木。基部に3主脈がある小判型の大きな葉で、ちぎると白い樹液が出る。大木では気根が発達して、何本も幹を出し非常に大きくなる。海岸近くに多く、紀伊半島から中国まで分布する。

アダン *Pandanus odoratissimus* (タコノキ科)



上向きに出る葉の縁のトゲ

単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑低木。単子葉植物で長い葉をもつ。パイナップルのような形の実をつける。海岸に多く、トカラ列島からインドネシアまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

アデク *Syzygium buxifolium* (フトモモ科)



単葉・対生・全縁・無毛・常緑低木。小さくて厚くあまり脈が見えない葉をつける。小枝は茶色。海岸近くの二次林に多く、九州南部からベトナムに分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

アマクサギ *Clerodendrum trichotomum* (シソ科)



単葉・対生・全縁・有毛・落葉小高木。クサギの変種。クサギは臭い木の意味で、葉をちぎると臭いが本種は余り臭わない。またクサギより毛が少ない。陽地に多く、九州南部～沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

アマシバ *Symplocos formosana* (ハイノキ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑低木。同じハイノキ科のク
ロバイに似るが枝が垂れる、葉が少し薄く幅が広いの
で区別できる。照葉樹林に多く、奄美から琉球に分布。

アマミアラカシ *Quercus glauca* var. *amamiana* (ブナ科)



単葉・互生・鋸歯・ほぼ無毛・高木。革質の葉で上半部に鋸歯。ドングリができる。[ウラジログシ](#)よりも葉幅が狭く、裏が余り白くない。樹皮は黒っぽい。九州のアラカシは本種より葉裏が白く、幅広い。**照葉樹林**にあり、奄美から沖縄に分布。

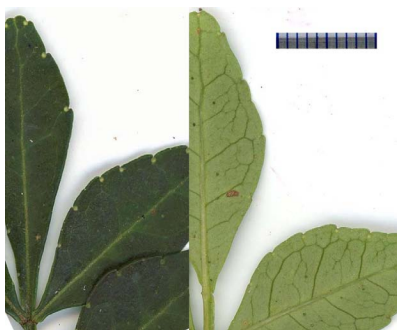
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

アマミザンショウ *Zanthoxylum amamiense* (ミカン科)



羽状複葉・互生・鋸歯・無毛・低木。1・2m の灌木。葉に油点が見える(ミカン科に多い)。枝のトゲが本種は対生、イヌザンショウは互生に出る。明るいところに見える。陽地に出現し、奄美群島に分布。

検索表

アイウエオ

科別へ

目次へ

イイギリ *Idesia polycarpa* (ヤナギ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・落葉高木。葉柄が長く赤い。葉の基部が心形(ハート形)。秋に落葉後、赤い実が多数ついている。以前はイイギリ科があったが、ヤナギ科になった。二次林に多く、本州から台湾・中国まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

イジュ *Schima wallichii* subsp. *noronhae* (ツバキ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑高木。(花は表紙の写真)
先駆的な性質もあるが極相林の優占種の一つ。亜熱帯
熱帯の二次林・老齢林に普通で、小笠原・奄美からイン
ドネシアまで9亜種が分布。

イスノキ *Distylium racemosum* (マンサク科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑高木。葉は硬く、縁が不規則に切れ込むことがある。照葉樹林の優占種の一つで、関東南部から台湾・中国まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

イヌビワ *Ficus erecta* (クワ科)



検索表

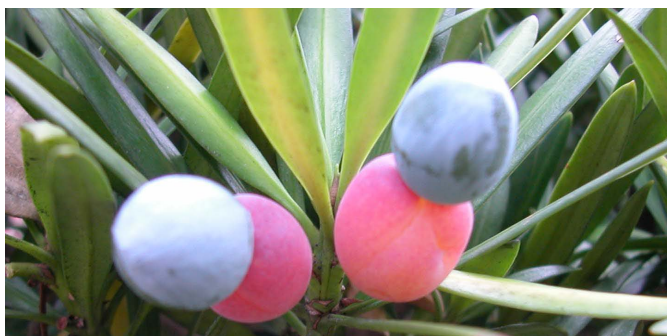
アイウエオ

科別

目次へ

単葉・互生・全縁・ほぼ無毛・落葉低木。ちぎると白い汁が出る。イチジクを小さくした形の実ができる。写真よりずっと葉幅の狭い木があり、ホソバイヌビワという品種になる。二次林に普通で、関東から沖縄まで分布。

イヌマキ *Podocarpus macrophyllus* (マキ科)



単葉・互生・全縁・無毛・中高木。裸子植物。長さ約 10cm 幅約 1cm の葉。種子を支えている柄が赤く熟して、甘く食べられる。植栽も多いが、照葉樹林内に生育し、関東から台湾・中国に分布。

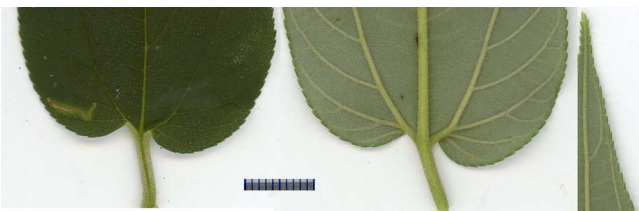
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ウラジロエノキ *Trema orientalis* (アサ科)



単葉・互生・鋸歯・多毛・中高木。

葉の裏は短毛が密生し白く見える。葉の基部が左右不対称。先駆種で成長が早い。陽地に多く、種子島から熱帯アジアまで広く分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ウラジロガシ *Quercus salicina* (ブナ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑高木。[アマミアラカシ](#)より葉が細くて薄く、裏が白い。樹皮も白っぽい。

山地の照葉樹林に多く、宮城県から台湾まで分布する。

検索表

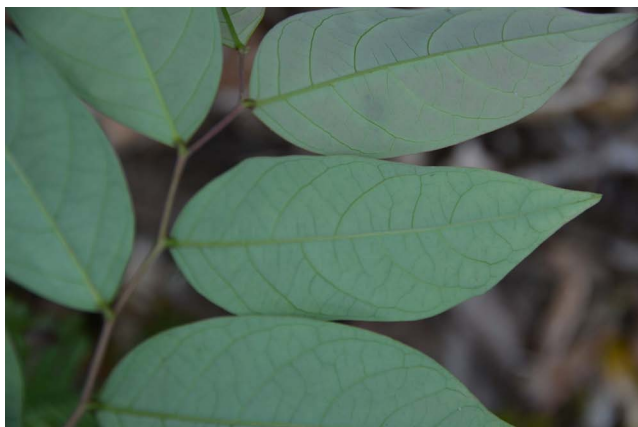
アイウエオ

科別

目次へ

ウラジロカンコノキ *Glochidion acuminatum*

(コミカンソウ科)



単葉・互生・全縁・無毛・低木。葉の裏が灰白色で比較的薄い。照葉樹林二あるが比較的少ない。奄美以南に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ウラジロタラノキ *Aralia elata* (ウコギ科)



2～3回羽状複葉・互生・
鋸齒・落葉低木。幹や葉
にトゲがあるが長さ数
mm、葉裏が白い。九州本
島～北海道に分布するタ
ラノキはトゲが 1-2cm に
達し、裏は灰白色。ただ
し2種のどちらか、区別

が難しい場合もある。新芽は山菜として有名。二次林に
多く、鹿児島本土～フィリピンまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

エゴノキ *Styrax japonica* (エゴノキ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・落葉中高木。幹が赤茶色。春に下向きの白い花が咲く。北海道から沖縄、中国に分布

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

オオシイバモチ *Ilex warburgii* (モチノキ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑小高木。葉先が伸び、鋸歯がある。枝は緑で幹は灰白色。[クロガネモチ](#)、[モチノキ](#)、[リュウキュウモチ](#)などと区別が難しい種類。[照葉樹林](#)に見られ、奄美から沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

オオシマウツギ *Deutzia naseana* (アジサイ科)



単葉・対生・鋸歯・有毛・落葉低木。高さ 2mほどになる。
茎は中空。明るい道端などに生育し、奄美大島と喜界島
だけに分布。

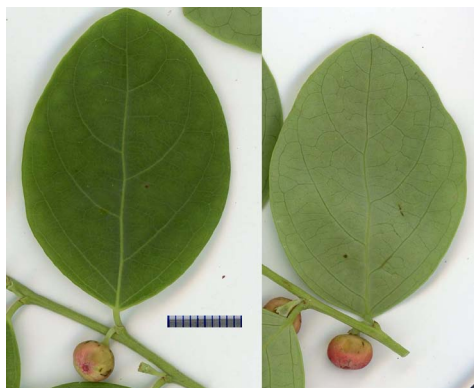
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

オオシマコバンノキ *Breynia vitis-idaea*
(コミカンソウ科)



単葉・互生・全縁・無毛・低木。複葉に見えるが単葉。海岸に多い。海岸林に出現し、トカラから台湾・中国まで分布。

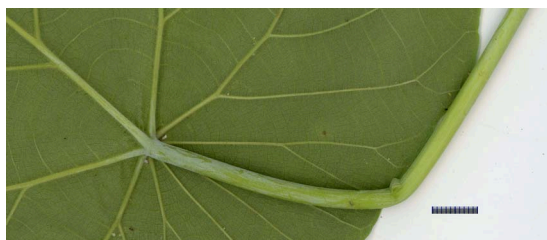
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

オオバギ *Macaranga tanarius* (トウダイグサ科)



単葉・互生・全縁・有毛・中高木。海岸付近に先駆性の低木～亜高木。丸く大きな葉でハス葉状に葉柄がついている(葉の縁でなく葉身の中から葉柄が出ている)ことで見分けることは容易。先駆種で陽地に生育し、奄美群島が北限で、インドネシアまで分布する。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

オオハマボウ *Hibiscus tiliaceus* (アオイ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ

単葉・互生・全縁(または微細鋸歯)・有毛・中高木。葉の基部が心形で裏に毛が多い。葉身長は 15 cm 程度 (近縁種のハマボウは 10cm 以下)。

海岸に多い。屋久島から熱帯アジアまで分布。

オオムラサキシキブ

Callicarpa japonica var. *luxurians* (シソ科)



単葉・対生・鋸歯縁・わずかに毛・落葉低木。北海道まで分布するムラサキシキブと連続的に変化するが、より毛が少なく、葉が大きい。二次林に多く、南日本に分布。

検索表

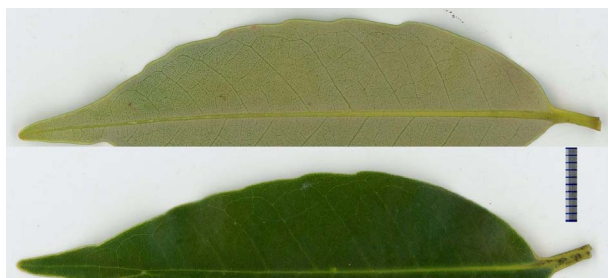
アイウエオ

科別

目次へ

オキナワジイ

Castanopsis sieboldii subsp. *lutchuensis* (ブナ科)



単葉・互生・全縁(若木は鋸歯)・無毛・高木。殻斗(実を覆う殻)の先端がスダジイは割れ、オキナワジイは割れない点異なるが、葉はスダジイと同じ。葉の裏が茶色～金色。ツルグミの葉に似るが、ツルなので区別できる。

照葉樹林の優占種。トカラ列島から沖縄県に分布。

検索表

アイウエオ

科別へ

目次へ

カキバカンコノキ *Glochidion zeylanicum*

(コミカンソウ科)



単葉・互生・全縁・無毛・低木。 トキワガキに似ているが、葉の基部が左右不対称。二次林によく見られ、屋久島からインドまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

カクレミノ *Dendropanax trifidus* (ウコギ科)



単葉・互生・全縁。無毛・中高木。3主脈があり、裏に細脈が良く見える。若い個体では、右下の図のように、葉が深く3裂するが成木では丸い葉になる。照葉樹林や二次林に多く、関東から台湾まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

カジノキ *Broussonetia papyrifera* (クワ科)



単葉・互生・鋸歯・多毛・落葉中高木。シマグワに似るが、毛がずっと多い。雌雄異株。二次林に稀に出現。中国～マレーシアに分布し、日本のものは栽培から野生化した。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ガジュマル *Ficus microcarpa* (クワ科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑高木。ちぎると白い樹液が出る。奄美の *Ficus* 属では一番小さな葉。大木では気根が発達。二次林にもあるが防風や被陰のため栽培もされる。屋久島からオーストラリアまで分布。

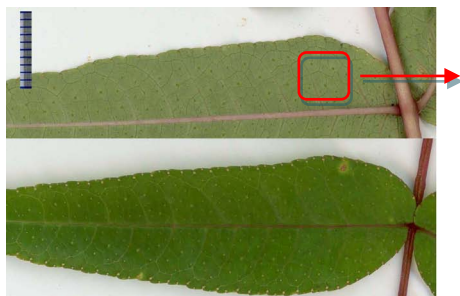
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

カラスザンショウ *Zanthoxylum ailanthoides* (ミカン科)



拡大

羽状複葉・互生・鋸歯・無毛・中高木。枝にトゲがあり大きな複葉を持つ。葉に油点(油を含んだ細胞)が見え、ちぎると潰れてにおいがでる(ミカン科に多い)。陽地に多く、本州からフィリピンに分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

カンコノキ *Glochidion obovatum* (コミカンソウ科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑低木。倒卵形(葉の中央より先端部の方が幅広い)の形をした葉が特徴。小枝の先がトゲのようになることもある。海岸近くの二次林に多く、近畿～沖縄まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ギーマ *Vaccinium wrightii* (ツツジ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑低木。小さく厚い葉を持つ。春に釣鐘状の長さ 1cm ほどの花を多数咲かせる。九州に多いシャシャンボに似るが、シャシャンボは裏面の主脈に突起があるが、ギーマにはない。
照葉樹林の縁に多く、奄美から台湾に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ギョボク *Crataeva religiosa* (フウチョウソウ科)



三出複葉・互生・全縁・

無毛・落葉高中木。全縁の三出複葉になる(似た葉の[アカギ](#)は鋸歯縁)。魚木と書くが、材が軽く釣りの擬餌に使われるため。ツマベニチョウの食草。

海岸近くに時々あり、鹿児島県からアフリカまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ギンネム *Leucaena leucocephala* (マメ科)



検
索
表

アイ
ウ
エ
オ

科
別

目
次
へ



2 回羽状複葉・互生・無毛・常緑低木。家畜の飼料用などに導入されたアメリカ熱帯原産の帰化植物。道端に多く、アジアにも熱帯亜熱帯に広く侵入している。

クスノキ *Cinnamomum camphora* (クスノキ科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑高木。葉の縁が波打ち、三主脈が目立つ葉。ちぎるとナフタリンのような匂い。三主脈で本種に似たクスノキ科は他に、葉が平面的に広がり対生に近いヤブニッケイ、立体的に広がるが輪生に近いシロダモ・イヌガシがある。街路樹などによく植栽される。奄美には自然分布ではないと思われるが、人里近くの林で見られる。本州から中国に分布する。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

クチナシ *Gardenia jasminoides* (アカネ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・対生・全縁・無毛・常緑低木。樹高数 m になり、春に白く直径 5cm ほどの花が咲く。托葉が長く伸びた実をつけ、黄色く熟し食物を黄色くするのに使う。茎を筒状に巻き、斜めに切られたような托葉がある。照葉樹林や二次林にあり、静岡県からインドシナに分布。

クログネモチ *Ilex rotunda* (モチノキ科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑中高木。裏に側脈がわずかに見え小判型、類似種のモチノキはほとんど脈が見えず楕円、オオシバモチには鋸歯があり、モッコクはより葉が厚く幅が狭い。小枝は緑色。照葉樹林にあり、関東からベトナムに分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

クロバイ *Symplocos prunifolia* (ハイノキ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑中高木。[アマシバ](#)に似るが、光沢があり厚くて小さい葉をつける。小枝は茶色。枝がしっかりしていて、垂れ下がらずに斜上することが多い。照葉樹林内のギャップなどに多く、関東から沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ケハダルリミノキ *Lasianthus curtisii* (アカネ)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ

葉裏



葉裏の拡大（毛が多い）

単葉・対生・全縁・多毛・常緑低木。高さ 1・2m の木。秋に瑠璃色の実をつける。照葉樹林内にあり、屋久島から東南アジアに分布。

コバンモチ *Elaeocarpus japonicus* (ホルトノキ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑高木。葉柄の両端が赤い。拡大図のように主脈と側脈の接点に水かき状の膜ができる。照葉樹林に普通で、紀伊半島から台湾・中国まで分布。

3. ゴンズイ *Euscaphis japonica* (ミツバウツギ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



羽状複葉・対生・鋸歯・無毛・落葉中高木。落葉樹の割には葉が厚い。秋に赤い果皮と黒い種子をつける。二次林や照葉樹林に生育し、茨城県～台湾・中国まで分布。

コンロンカ *Mussaenda parviflora* (アカネ科)



葉裏

単葉・対生・全縁・無毛・半ツル性常緑低木。多数の花が集まって咲くが、白い花弁のように見えるものはガクで、黄色いのが花弁。本州南部～屋久島と台湾・中国大陸中部に分布するヒロハコンロンカはツルにならない落葉低木。種子島ら台湾・中国まで分布し、同属種は熱帯に多い。

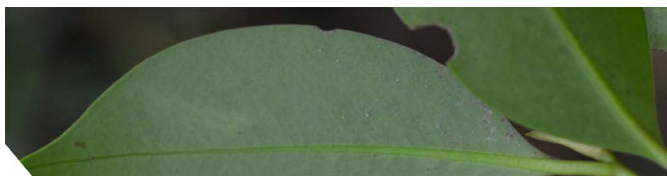
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

サカキ *Cleyera japonica* (モッコク科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑中高木。曲がって三日月のような形の芽を持つ点はヒサカキと共通。[ヒサカキ](#)は葉裏に網目状脈が見えるが、サカキは見えず葉も大きい。神道でよく使われる木。[照葉樹林に生育し、茨城県から台湾・中国に分布。](#)

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

サキシマフヨウ *Hibiscus makinoi* (アオイ科)

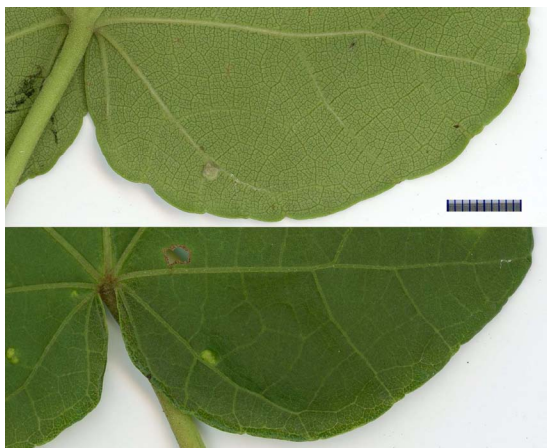


検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・全縁・有毛・半常緑低木。葉全体が 5 角形。山中の道端に多く、九州西部～沖縄に分布。

サクラツツジ *Rhododendron tashiroi* (ツツジ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・輪生・全縁・無毛・常緑低木。葉は3輪生か対生。芽や枝先に毛がある(右下写真)。春に薄ピンク色の花。照葉樹林に多く、四国から沖縄に分布。

サザンカ *Camellia sasanqua* (ツバキ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑小高木。葉柄や芽には細毛がある(類似種のヤブツバキは無毛)。照葉樹林にあり、山口県～沖縄に分布

サンゴジュ (スイカズラ科)



単葉・対生・全縁～少し鋸歯・無毛・小高木。長い葉で葉柄が太く茶色い。赤い実が宝石サンゴの様なのでこの名がある。照葉樹林に生育し、四国、九州沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シシアクチ *Ardisia quinquegona* (ヤブコウジ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・全縁・無毛・低木。高さ 1-2m、実をよくつける。写真の丸の中のように小枝の基部が膨れている。[モクタチバナ](#)によく似るが低木で、小枝が細い。[照葉樹林の林内に普通。屋久島からインドシナに分布。](#)

シバニッケイ *Cinnamomum doederleini*(クスノキ科)



単葉・対生(やや互生)・全縁・ほぼ無毛・低木。新葉は裏に毛がある。ちぎるとニッケイのようなにおいがある。海岸林に出現。奄美～沖縄に分布。トカラ以北には類似種のマルバニッケイがある。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シバハギ *Desmodium heterocarpon* (マメ科)



検索表

アイウエオ

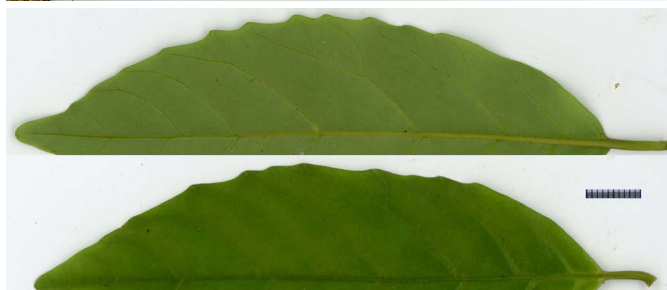
科別

目次へ



三出複葉・互生・全縁・有毛・落葉低木。高さ 1-2m の
灌木。明るい道端などに生育し、静岡以南に分布。

シマイズセンリョウ *Maesa montana* var.
formosana (ヤブコウジ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑低木。高さ約3mまで。大きめの波打つような鋸歯が特徴。トカラ以北に分布する類似種のイズセンリョウは、高さ約1mまでで、花序が分岐しない。照葉樹林内に多く、九州南部から沖縄・台湾・中国に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シマウリカエデ *Acer insulare* (ムクロジ科)



単葉・対生・鋸歯縁・無毛・落葉小高木。かなり太い枝も緑色をしている。二次林によく見られるが、奄美地域に固有。カエデ類は奄美群島に、他にクスノハカエデとアマミアジカエデがあるが両者ともごく稀。

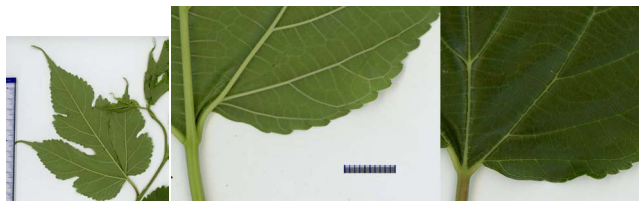
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シマグワ *Morus australis* (クワ科)



単葉・互生・鋸歯・有毛・落葉高木。(別名ヤマグワ)。
少しざらつく大きな葉。若い個体では葉縁が不規則
に切れ込む。二次林に出現し、ヤマグワは北海道か
らヒマラヤまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シマサルスベリ *Lagerstroemia subcostata* (ミソハギ科)



単葉・互生(対生)・全縁・有毛(ほぼ無毛)・落葉中高木。若枝は4稜がある。茶色の樹皮が不規則に剥げ、幹がまだら模様になる。二次林に出現する。奄美・沖縄から台湾・中国に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シマタゴ *Fraxinus insularis* (モクセイ科)



羽状複葉・対生・鋸歯・無毛・落葉中高木。葉が薄く紙質。二次林にみられ、奄美からヒマラヤまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シマモクセイ *Osmanthus insularis* (モクセイ科)



単葉・対生・全縁・無毛・中高木。別名ナタオレノキ。托葉がない。[ネズミモチ](#)に似るが伸びた葉先などで区別できる。[照葉樹林](#)にあり、福井県から台湾まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シャリンバイ *Rhaphiolepis indica* var. *umbellata*
(バラ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・低木。細脈が目だつ。[トベラ](#)に似るが葉に匂いがないこと、鋸歯があることで区別できる。材を大島紬の染料に使う。[海岸林の木](#)。宮城県からボルネオまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シウベンノキ *Turpinia ternata* (ミツバウツギ科)



複葉・対生・鋸歯縁・無毛・中高木。三出複葉が対生になり、厚い葉。似た葉の[アカギ](#)は互生。春に枝を切ると樹液がよく出るので“小便の木”。二次林や照葉樹林に普通。四国・九州・沖縄から台湾まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

シロミズ *Tricalysia dubia* (アカネ科)



検索表
アイウエオ
科別
目次へ

単葉・対生・全縁・無毛・常緑低木。葉は革質で、葉柄基部に先が尖った托葉がある。照葉樹林に見られ、屋久島・種子島から台湾・中国に分布。

センダン *Melia azedarach* (センダン科)



2～3回羽状複葉・互生・鋸歯・無毛・落葉高木。1m近い長さになることもある大きな複葉。植栽もされるが、二次林に見られ、四国・九州から沖縄・中国まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

センリヨウ *Sarcandra glabra* (センリヨウ科)



単葉・対生・鋸歯縁・無毛・低木(高さ 1m)。冬に赤い実
がなり、生け花によく使われる原始的被子植物。大きな鋸歯が特徴。照葉樹林の林床に出現し、東海道からマレーシアまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ソテツ *Cycas revolute* (ソテツ科)



羽状複葉・互生・全縁・無毛・低木。自然には海岸の急斜面に多いが、畑の境界などにもよく植栽される。九州南部から中国南部に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

タイミンタチバナ *Myrsine seguinii* (ヤブコウジ科)



単葉・互生・全縁・無毛・中高木。細長い葉で、葉裏の側脈がほとんど見えない。照葉樹に多く、千葉からベトナムまで分布

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

タブノキ *Machilus thunbergii* (クスノキ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・全縁・無毛・常緑高木。葉縁がホソバタバのように波打つことはない。枝は緑色(似た葉のカゴノキの枝は茶色)。幹は灰白色。照葉樹林の優占種のひとつで、本州から沖縄に分布。

タラノキ *Aralia elata* (ウコギ科)



2~3回羽状複葉・互生・鋸歯・落葉低木。幹や葉にトゲが多い。新芽は山菜として有名。二次林に多く、樺太から九州まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

トベラ *Pittosporum tobira* (トベラ科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑低木。細脈が明瞭で、[シヤリンバイ](#)に似るが、本種は全縁で葉をちぎると臭いがある。[海岸林の木で、岩手から沖縄まで分布。](#)

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ナンゴクアオキ *Aucuba japonica* var. *ovoidea*
(アオキ科)



単葉・対生・鋸歯縁・無毛・常緑低木。葉長 10-15cm で高さ 1-2m、枝は緑。本種は二倍体、中国地方を除く本州と四国に分布するアオキは四倍体。2種の葉は鋸歯の形が少し異なるが良く似ており、区別困難。照葉樹林内に生育し、中国地方・四国・九州・沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ナンバンキブシ *Stachyurus praecox* var. *matsuzakii* (キブシ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・落葉低木。カーブした側脈と長く伸びた葉先が特徴。道端に生育し、山口県～奄美まで分布。類似種のキブシは北海道から九州に分布。

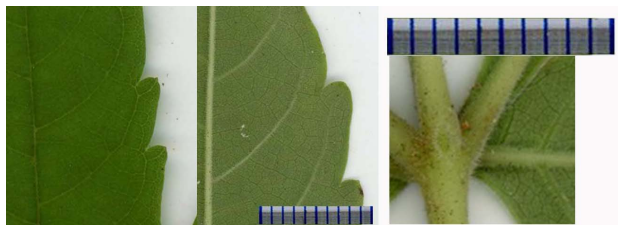
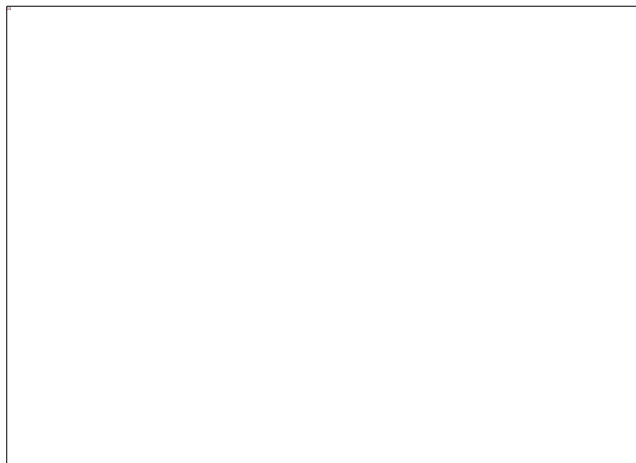
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ニンジンボク *Vitex negundo* var. *cannabifolia*
(シソ科)



掌状複葉・対生・鋸歯・有毛・落葉低木。掌状複葉が対生し、葉裏に短毛がある(右下の図)ので見分けやすい。元はクマツヅラかだったが、今はシソ科の入れられている。道端に生育。ヨーロッパ原産で、奄美では野生化したものが少し見られる。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ヌルデ *Rhus javanica* var. *chinensis* (ウルシ科)



羽状複葉・互生・鋸歯・有毛・落葉小高木。羽状複葉の軸に翼(幅の狭い葉身)がある事で容易に区別できる。かぶれることがある。陽地に多く、北海道からヒマラヤまで分布する。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ネズミモチ *Ligustrum japonicum* (モクセイ科)



単葉・対生・全縁・無毛・常緑小高木。側脈がほとんど見えない。[シマモクセイ](#)に似るが、より普通種。**二次林・照葉樹林**にあり、本州から台湾・中国まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ノボタン *Melastoma candidum* (ノボタン科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



短い毛が密生



単葉・対生・全縁・有毛・低木。高さ1mほどの木。長い側脈と毛の多い葉をもつ。陽地にあり、奄美からインドネシアまで分布

ハシカンボク *Bredia hirsuta* (ノボタン科)



長い毛が散在



単葉・対生・全縁・有毛・低木。長い毛が散在する葉で、高さ 1m 以下なので、[ミヤマハシカンボク](#)と区別できる。暗い道端などに多く、屋久島から沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ハゼノキ *Toxicodendron succedaneum* (ウルシ科)



羽状複葉・互生・全縁・無毛・落葉亜高木。かぶれやすいが、紅葉が美しい。類似種のヤマハゼ(葉に毛がある)は奄美にはない。昔ハゼロウを取るために植栽もされた。二次林に多く、四国・九州から台湾・中国に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ハドノキ *Oreocnide pedunculata* (イラクサ科)



単葉・互生・鋸歯・わずかに毛・常緑小高木。長い三主脈がある葉。類似種のイワガネは、種子島以北に分布し、毛が多い落葉低木。照葉樹林の沢沿いなど湿った所であり、紀伊半島から台湾に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ハマイヌビワ *Ficus virgata* (クワ科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑小高木。左右不对称で長さ 20 c mほどの厚い葉を持ち、実は丸くて直径 1 c mほどになり赤く熟す。海岸近くの二次林に多く、奄美からニューギニアまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ハマクサギ *Premna microphylla* (シソ科)



単葉・対生・鋸歯縁・無毛・落葉小高木。葉が臭く大きな鋸歯がある。名前に浜とあるが山中にもあり、近畿から台湾まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ハマゴウ *Vitex rotundifolia* (シソ科)



単葉・対生・全縁・有毛・常緑低木。樹木だが幹のほとんどが砂に埋もれた砂丘植物 葉の表面は微細毛でおおわれる。3出複葉のミツバハマゴウも奄美にある。
海流散布で、本州からオーストラリアまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ハマヒサカキ *Eurya emarginata* (モッコク科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑低木。小さく厚い葉で葉縁が裏側に巻き、表面の側脈がくぼむ。海岸林の木で本州中南部～沖縄に分布

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ハマビワ *Litsea japonica* (クスノキ科)



単葉・互生・全縁・多毛・常緑小高木。葉の裏に薄茶色の毛が密生する。海岸林の優占種で、島根県から沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

バリバリノキ *Actinodaphne acuminata* (クスノキ科)



単葉・互生・全縁・無毛・亜高木。長さ 20cm になる長い葉が特徴。葉の縁が波打ち、裏面は白っぽく側脈が突出する。[ホソバタブ](#)が似ているが、本種ほど長くなく側脈も突出しない。照葉樹林に時々あり、千葉から沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ヒサカキ *Eurya japonica* (モッコク科)



検索表

アイウエオ

科別

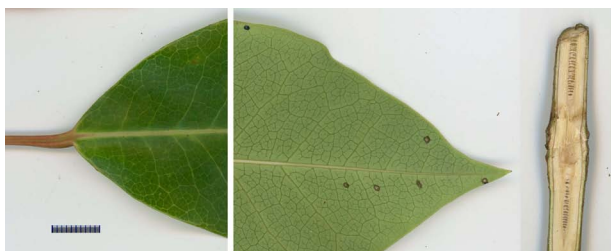
目次へ



単葉・互生・鋸齒・無毛・常緑小高木。三日月型に曲った芽を持つ。照葉樹林にあり、岩手～沖縄まで分布。

ヒメユズリハ *Daphniphyllum teijsmannii*

(ユズリハ科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑亜高木。葉裏は細脈明瞭。若木は縁に不規則な鋸歯。茎の髓が階段状になる。二次林・照葉樹林に多く、福島～台湾に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

フカノキ *Schefflera heptaphylla* (ウコギ科)



掌状複葉・互生・全縁・無毛・常緑亜高木。大きな掌状複葉を持ち、幹は灰白色。若木は葉縁が不規則に切れ込む。海岸近くの林に多く、九州南部からインドシナまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ホソバムクイヌビワ *Ficus ampelas* (クワ科)



単葉・互生・全縁・有毛・常緑垂高木。葉が比較的薄い紙質で、少しざらつく。沖縄(八重山)にある類似種のムクイヌビワはよりざらつく。二次林に時々見られ、奄美からニューギニアまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ホソバタブ *Persea japonica* (クスノキ科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑亜高木。別名アオガシ。
タブノキとバリバリノキの中間的な葉を持つ。照葉
樹林にあり、関東から奄美、徳之島まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ボチヨウジ *Psychotria rubra* (アカネ科)



単葉・対生・全縁・無毛・常緑低木。高さ 1-2m。厚い葉で、托葉がある。樹形は主軸が低い所で消え二股分岐で横に広がる。照葉樹林内に生え、屋久島・種子島からインドシナに分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

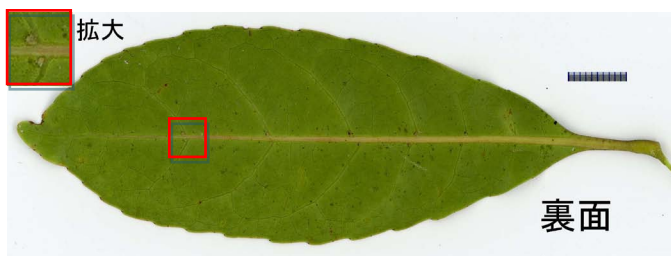
ホルトノキ *Elaeocarpus zollingeri* (ホルトノキ科)

検索表

アイウエオ

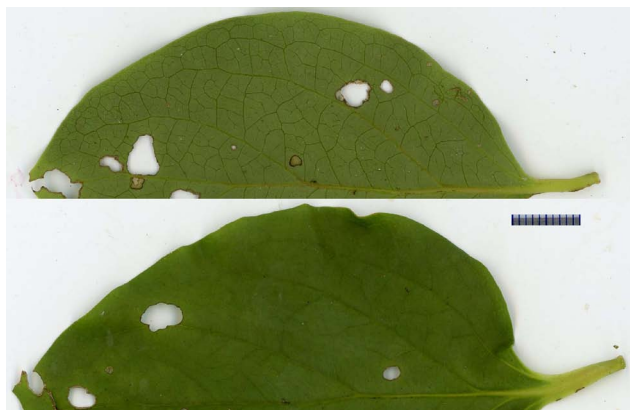
科別

目次へ



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑亜高木。葉の表裏の違いが少ない。コバンモチのように葉腋に水かき状の膜幕がある。照葉樹林にあり、千葉～沖縄に分布(変種はインドシナまで)。

ボロボロノキ *Schoepfia jasminodora* (ボロボロノキ科)



単葉・互生・全縁・無毛・落葉小高木。落葉樹の割に厚い葉。枝が簡単に折れるのでボロボロノキ。二次林・照葉樹林にあり、九州中部から沖縄に分布。

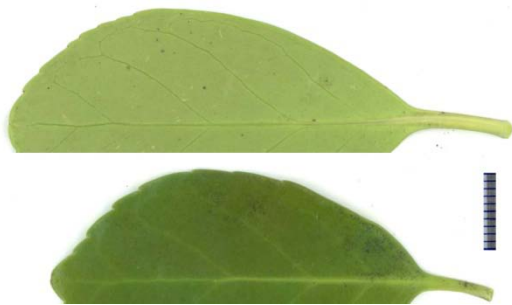
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

マサキ *Euonymus japonicus* (ニシキギ科)



単葉・対生・鋸歯縁・無毛・亜高木。小枝が緑。生垣によ
多いが海岸の木で北海道南部から沖縄・中国に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

マルバグミ *Elaeagnus macrophylla* (グミ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・全縁・多毛・常緑低木。別名オオバグミ。
半ツル性。星状毛が葉裏をおおう。海岸近くの林に
多く、関東から沖縄に分布。

マンリヨウ *Ardisia crenata* (ヤブコウジ科)



単葉・互生・鋸齒・無毛・常緑低木。高さ1mほど。枝の基部が膨れることと、葉縁に腺点があるのが特徴。照葉樹林内に生育し関東から沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ミミズバイ *Symplocos glauca* (ハイノキ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑小高木。葉縁が少し裏に巻き、側脈が少し突出する。照葉樹林にあり、千葉からインドシナに分布。

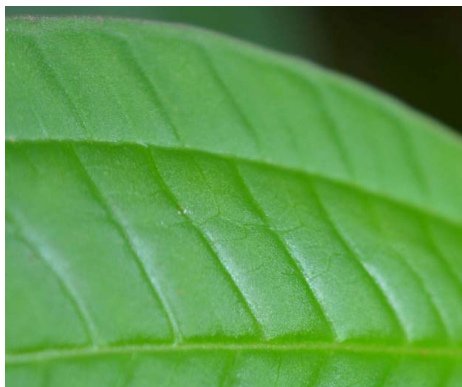
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ミヤマハシカンボク *Blastus cochinchinensis* (ノボタン科)



単葉・対生・全縁・ほとんど無毛・常緑低木。高さ数mになるが、[ハシカンボク](#)は 1m 以下。[照葉樹林に生育し、屋久島からインドシナに分布。](#)

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

メドハギ *Lespedeza cuneata* (マメ科)



三出複葉・互生・全縁・低木。高さ 1m 未満。葉裏に寝た毛が多い。明るい道端に生え、北海道からアフガニスタンまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

モクタチバナ *Ardisia sieboldii* (ヤブコウジ科)



単葉・互生・全縁・無毛・常緑小高木。厚いが柔らかくほとんど側脈が見えない葉。丸内のように枝の付け根が膨らみ、それが落ちた痕が幹に残る。[シシアク](#)[チ](#)の葉がよく似ている、幼木の区別は難しいが葉が大きく小枝が太い。海岸に近い照葉樹林に生え、四国・九州・沖縄に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

モチノキ *Ilex integra* (モチノキ科)



単葉・互生・全縁・無毛・亜高木。葉柄が少し赤く、裏に側脈がほとんど見えず厚い葉。[クロガネモチ](#)に似るがより厚く、楕円形。[モッコク](#)より薄く幅広い。[照葉樹林](#)にあり、東北から沖縄に分布する。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

モッコク *Ternstroemia gymnanthera* (モッコク科)



単葉・互生・全縁・無毛・亜高木。モチノキに似るが、葉はこの図鑑中の樹木で最も厚くて、より細く、葉柄が赤い。海岸近くの林に多く、関東から東南アジアまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ヤエヤマネコノチチ *Rhamnella franguloides*
var. *inaequilatera* (クロウメモドキ科)

検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・鋸歯・無毛・落葉小高木。薄い葉で葉先が長く伸びる。照葉樹林に稀にあり、本変種は奄美から沖縄に分布し、母種のネコノチチは岐阜～九州。

ヤブツバキ *Camellia japonica* (ツバキ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・常緑亜高木。角質の葉で芽なども無毛(類似種のサザンカは芽などに毛)。照葉樹林に多く、青森県から台湾まで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ヤブニッケイ *Cinnamomum tenuifolium* (クスノキ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生～対生・全縁・無毛・亜高木。互生だが対生に近い葉の平面的配列をする。葉をちぎるとシナモンの匂いがある。幹は赤茶色で滑らか。照葉樹林にあり、北陸から沖縄に分布。

ヤマヒハツ *Antidesma japonicum* (コミカンソウ科)



単葉・互生・鋸齒・無毛・常緑低木。葉の基部が左右不対称。林内でよく実をつけている。二次林・照葉樹林内に多く和歌山県～台湾に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

ヤマビワ *Meliosma rigida* (アワブキ科)



検索表

アイウエオ

科別

目次へ



単葉・互生・鋸歯・有毛・亜高木。鋸歯の先がとがり、
葉裏は側脈が突出し毛が多い。二次林・照葉樹林に
普通で、紀伊半島から台湾・中国まで分布。

ヤンバルアワブキ *Meliosma oldhamii* (アワブキ科)



複葉・互生・鋸歯・有毛・半常緑亜高木。(別名フシノハアワブキ) 二次林・照葉樹林に生育し、奄美・沖縄に分布するほか、対馬と山口県にもある。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

リュウキュウハハイクダ *Helwingia japonica* var.
liukuensis (ハナイカダ科)



単葉・互生・鋸歯・無毛・落葉低木。高さ 2mほどで、雌雄異株の木。花が葉の上に咲く。照葉樹林にあり、奄美・沖縄に分布する。ハナイカダは本種より小さな葉で、北海道南部から九州に分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

リュウキュウマツ *Pinus luchuensis* (マツ科)



単葉・互生・全縁・無毛・高木。クロマツに似るが、葉がより柔らかい。海岸や二次林に多く、トカラ列島～沖縄に分布。クロマツは青森県からトカラまで。

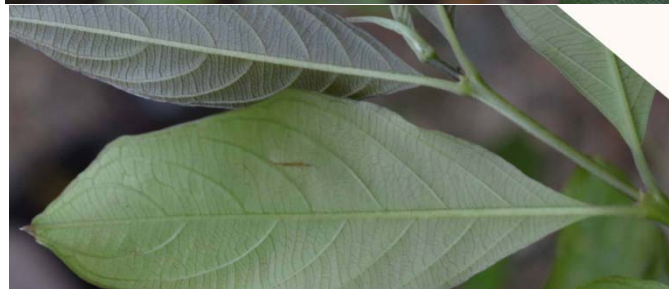
検索表

アイウエオ

科別

目次へ

リュウキュウルリミノキ *Lasianthus fordii* (アカネ科)



単葉・対生・全縁・有毛。(別名タシロルリミノキ) 高さ
1-2m の低木。瑠璃色の実ができる。葉に毛が少ない。
照葉樹林内に生育し、屋久島からフィリピンまで分布。

検索表

アイウエオ

科別

目次へ

(5)アイウエオ順種名リスト (目次へ)

種名	種名
アカギ	エゴノキ
アカテツ	オオシイバモチ
アカミズキ	オオシマウツギ
アカメイヌビワ	オオシマコバンノキ
アカメガシワ	オオバギ
アコウ	オオハマボウ
アダン	オオムラサキシキブ
アデク	オキナワジイ
アマクサギ	カキバカンコノキ
アマシバ	カクレミノ
アマミアラカシ	カジノキ
アマミザンショウ	ガジュマル
イイギリ	カラスザンショウ
イジュ	カンコノキ
イスノキ	ギーマ
イヌビワ	ギンネム
イヌマキ	クスノキ
ウラジロエノキ	クチナシ
ウラジログシ	ギョボク
ウラジロカンコノキ	クロガネモチ
ウラジロタラノキ	

種名	種名
<u>クロバイ</u>	<u>ショウベンノキ</u>
<u>ケハダルリミノキ</u>	(スダジイ)
<u>コバンモチ</u>	<u>シロミミズ</u>
<u>ゴズイ</u>	<u>センダン</u>
<u>コンロンカ</u>	<u>センリョウ</u>
<u>サカキ</u>	<u>ソテツ</u>
<u>サキシマフヨウ</u>	<u>タイミンタチバナ</u>
<u>サクラツツジ</u>	<u>タブノキ</u>
<u>サザンカ</u>	タラノキ→ウラジロタラノキ
<u>サンゴジュ</u>	<u>トベラ</u>
<u>シシアクチ</u>	(ナタオレノキ)
<u>シバニッケイ</u>	<u>ナンゴクアオキ</u>
<u>シバハギ</u>	<u>ナンバンキブシ</u>
<u>シマイズセンリョウ</u>	<u>ニンジンボク</u>
<u>シマウリカエデ</u>	<u>ヌルデ</u>
<u>シماغワ</u>	<u>ネズミモチ</u>
<u>シマタゴ</u>	<u>ノボタン</u>
<u>シマサルスベリ</u>	<u>ハシカンボク</u>
<u>シマモクセイ</u>	<u>ハゼノキ</u>
<u>シャリンバイ</u>	<u>ハドノキ</u>

種名	種名
<u>ハマイヌビロ</u>	<u>モクタチバナ</u>
<u>ハマクサギ</u>	<u>モチノキ</u>
<u>ハマゴウ</u>	<u>モッコク</u>
<u>ハマヒサカキ</u>	<u>ヤエヤマネコノチチ</u>
<u>ハマビロ</u>	<u>ヤブツバキ</u>
<u>バリバリノキ</u>	<u>ヤブニッケイ</u>
<u>ヒサカキ</u>	<u>ヤマヒハツ</u>
<u>ヒメユズリハ</u>	<u>ヤマビロ</u>
<u>フカノキ</u>	<u>ヤンバルアワブキ</u>
<u>ホソバムクイヌビロ</u>	<u>リュウキュウハナйкаダ</u>
<u>ホソバタブ</u>	<u>リュウキュウマツ</u>
<u>ボチョウジ</u>	<u>リュウキュウルリミノキ</u>
<u>ホルトノキ</u>	
<u>ボロボロノキ</u>	
<u>マサキ</u>	
<u>マルバグミ</u> (オオバグミ)	
<u>マンリョウ</u>	
<u>ミミズバイ</u>	
<u>ミヤマハシカンボク</u>	
<u>メドハギ</u>	

(6)科名順の種名リスト [\(目次へ\)](#)

科名	種名
アオイ	オオハマボウ サキシマフヨウ
アオキ(ミズキ)	ナンゴクアオキ
アカテツ	アカテツ
アカネ	アカミズキ クチナシ ケハダルリミノキ コンロンカ シロミミズ ボチョウジ リュウキュウルリミノキ
アサ(ニレ)	ウラジロエノキ
アジサイ(ユキノシタ)	オオシマウツギ
アワブキ	ヤマビワ ヤンバルアワブキ
イラクサ	ハドノキ
ウコギ	カクレミノ ウラジロタラノキ フカノキ
ウルシ	ヌルデ ハゼノキ

科名	種名
エゴノキ	エゴノキ
キブシ	ナンバンキブシ
クスノキ	クスノキ シバニッケイ タブノキ ハマビワ バリバリノキ ホソバタブ ヤブニッケイ
グミ	マルバグミ (オオバグミ)
クロウメモドキ	ヤエヤマネコノチ
クワ	アカメイスビワ アコウ イスビワ カジノキ ガジュマル シماغワ ハマイスビワ ホソバムクイスビワ
コミカンソウ (トウダイグサ)	アカギ ウラジロカンコノキ オオシマコバンノキ

科名	種名
コミカンソウ(トウダイグサ)	カキバカンコノキ カンコノキ ヤマヒハツ
シソ(クマツヅラ)	アマクサギ オオムラサキシキブ ニンジンボク ハマクサギ ハマゴウ
センダン	センダン
センリョウ	センリョウ
ソテツ	ソテツ
タコノキ	アダン
ツツジ	ギーマ サクラツツジ
ツバキ	イジュ サザンカ ヤブツバキ
トウダイグサ	アカメガシロ オオバギ
トベラ	トベラ

科名	種名
ニシキギ	マサキ
ノボタン	ノボタン ハシカンボク ミヤマハシカンボク
ハイノキ	アマシバ クロバイ ミズバイ
ハナイカダ	リュウキュウハナイカダ
バラ	シャリンバイ
フウチョウソウ	ギョボク
フトモモ	アデク
ブナ	アマミアラカシ ウラジログシ オキナワウラジログシ オキナワジイ
ホルトノキ	コバンモチ ホルトノキ
ボロボロノキ	ボロボロノキ
マキ	イヌマキ
マツ	リュウキュウマツ
マメ	ギンネム

科名	種名
マメ	シバハギ メドハギ
マンサク	イスノキ
ミカン	アミザンショウ カラスザンショウ
ミツハギ	シマサルスベリ
ミツバウツギ	ゴンズイ ショウベンノキ
ムクロジ(カエデ)	シマウリカエデ
モクセイ	シマタゴ シマモクセイ(ナタオレノキ) ネズミモチ
モチノキ	オオシイバモチ クロガネモチ モチノキ
モッコク(ツバキ)	サカキ ハマヒサカキ ヒサカキ モッコク
ヤナギ(イイギリ)	イイギリ

科名

種名

ヤブコウジ

[シシアクチ](#)

[シマイズセンリョウ](#)

[タイミンタチバナ](#)

[マンリョウ](#)

[モクタチバナ](#)

ユズリハ

[ヒメユズリハ](#)

レンプクソウ(スイカズラ) [サンゴジュ](#)

(7) 生息地別種名リスト [\(目次へ\)](#)

主な生息地は次のようです。

明るい道端や草地

種名	種名
ギンネム	ヌルデ
シバハギ	ノボタン
タラノキ	ハマゴウ
ナンバンキブシ	ハマヒサカキ
ニンジンボク	メドハギ

海岸林

アカテツ	シバニッケイ
アダン	シャリンバイ
アデク	トベラ
オオシマコバンノキ	ハマゴウ
オオハマボウ	ハマヒサカキ
カンコノキ	ハマビワ
ソテツ	リュウキュウマツ

若い林、二次林

アカギ	カンコノキ
アカミズキ	ギーマ
アカメイヌビワ	クスノキ
アカメガシワ	クチナシ

<u>アコウ</u>	<u>ギョボク</u>
<u>アマクサギ</u>	<u>ゴンズイ</u>
<u>アマミザンショウ</u>	<u>コンロンカ</u>
<u>イイギリ</u>	<u>サキシマフヨウ</u>
<u>イジュ</u>	<u>シマウリカエデ</u>
<u>イヌビワ</u>	<u>シماغワ</u>
<u>ウラジロエノキ</u>	<u>シマサルスベリ</u>
<u>エゴノキ</u>	<u>シマタゴ</u>
<u>オオシマウツギ</u>	<u>ショウベンノキ</u>
<u>オオバギ</u>	<u>タラノキ</u>
<u>オオムラサキシキブ</u>	<u>センダン</u>
<u>カキバカンコノキ</u>	<u>ハゼノキ</u>
<u>カジノキ</u>	<u>ハドノキ</u>
<u>オオバギ</u>	<u>ハマイヌビワ</u>
<u>オオムラサキシキブ</u>	<u>ハマクサギ</u>
<u>ガジュマル</u>	<u>リュウキュウマツ</u>
<u>カラスザンショウ</u>	

照葉樹林

<u>アカミズキ</u>	<u>タブノキ</u>
<u>アマシバ</u>	<u>ナンゴクアオキ</u>
<u>アマミアラカシ</u>	<u>ネズミモチ</u>
<u>イジュ</u>	<u>ハシカンボク</u>
<u>イスノキ</u>	<u>バリバリノキ</u>

イヌマキ	ヒサカキ
ウラジログシ	ヒメユズリハ
ウラジロカンコノキ	フカノキ
オオシイバモチ	ホソバタブ
オキナワジイ	ボチョウジ
カクレミノ	ホルトノキ
クチナシ	ボロボロノキ
クロガネモチ	マサキ
クロバイ	マルバグミ (オオバグミ)
ケハダルリミノキ	マンリョウ
コバンモチ	ミミズバイ
シロミミズ	ミヤマハシカンボク
サカキ	モクタチバナ
サクラツツジ	モチノキ
サザンカ	モッコク
サンゴジュ	ヤエヤマネコノチチ
シシアクチ	ヤブツバキ
ショウベンノキ	ヤブニッケイ
シマイズセンリョウ	ヤマヒハツ
シマグワ	ヤマビロ
センリョウ	ヤンバルアワブキ
シマモクセイ	リュウキュウハナイカダ
タイミンタチバナ	リュウキュウルリミノキ

(8)学名—和名 対応表 [\(目次へ\)](#)

<i>Acer insulare</i>	シマウリカエデ
<i>Actinodaphne acuminata</i>	バリバリノキ
<i>Aidia canthioides</i>	シマミサオノキ
<i>Antidesma japonicum</i>	ヤマヒハツ
<i>Aralia elata</i>	タラノキ
<i>Ardisia crenata</i>	マンリョウ
<i>Ardisia quinqueгона</i>	シシアクチ
<i>Ardisia sieboldii</i>	モクタチバナ
<i>Aucuba japonica</i> var. <i>ovoidea</i>	ナンゴクアオキ
<i>Bischofia javanica</i>	アカギ
<i>Blastus cochinchinensis</i>	ミヤマハシカンボク
<i>Bredia hirsuta</i>	ハシカンボク
<i>Breynia vitis-idaea</i>	オオシマコバンノキ
<i>Broussonetia papyrifera</i>	カジノキ
<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>luxurians</i>	オオムラサキシキブ
<i>Camellia japonica</i>	ヤブツバキ
<i>Camellia sasanqua</i>	サザンカ
<i>Castanopsis sieboldii</i> subsp. <i>lutchuensis</i>	オキナワジイ
<i>Cinnamomum camphora</i>	クスノキ
<i>Cinnamomum doederleinii</i>	シバニッケイ
<i>Cinnamomum tenuifolium</i>	ヤブニッケイ

<i>Clerodendrum trichotomum</i> var. <i>fargesii</i>	アマクサギ
<i>Cleyera japonica</i>	サカキ
<i>Cycas revoluta</i>	ソテツ
<i>Daphniphyllum teijsmannii</i>	ヒメユズリハ
<i>Dendropanax trifidus</i>	カクレミノ
<i>Desmodium heterocarpon</i>	シバハギ
<i>Deutzia naseana</i>	オオシマウツギ
<i>Distylium racemosum</i>	イスノキ
<i>Elaeagnus macrophylla</i>	マルバダミ
<i>Elaeocarpus japonicus</i>	コバンモチ
<i>Elaeocarpus zollingeri</i>	ホルトノキ
<i>Euonymus japonicus</i>	マサキ
<i>Eurya emarginata</i>	ハマヒサカキ
<i>Eurya japonica</i>	ヒサカキ
<i>Euscaphis japonica</i>	ゴンズイ
<i>Ficus benguetensis</i>	アカメイヌビワ
<i>Ficus erecta</i> var. <i>erecta</i>	イヌビワ
<i>Ficus microcarpa</i>	ガジュマル
<i>Ficus superba</i> var. <i>japonica</i>	アコウ
<i>Ficus virgata</i>	ハマイヌビワ
<i>Fraxinus insularis</i>	シマタゴ
<i>Gardenia jasminoides</i>	クチナシ
<i>Glochidion acuminatum</i>	ウラジロカンコノキ

<i>Glochidion obovatum</i>	カンコノキ
<i>Glochidion zeylanicum</i> var. <i>zeylanicum</i>	カキバカンコノキ
<i>Helwingia japonica</i> var. <i>liukuensis</i>	リュウキュウハナイカ ダ
<i>Hibiscus makinoi</i>	サキシマフヨウ
<i>Hibiscus tiliaceus</i>	オオハマボウ
<i>Idesia polycarpa</i>	イイギリ
<i>Ilex integra</i>	モチノキ
<i>Ilex rotunda</i>	クロガネモチ
<i>Ilex warburgii</i>	オオシイバモチ
<i>Lagerstroemia subcostata</i>	シマサルスベリ
<i>Lasianthus curtisii</i>	ケハダルリミノキ
<i>Lasianthus fordii</i>	リュウキュウルリミノキ
<i>Lespedeza cuneata</i>	メドハギ
<i>Leucaena leucocephala</i>	ギンネム
<i>Ligustrum japonicum</i>	ネズミモチ
<i>Litsea japonica</i>	ハマビワ
<i>Macaranga tanarius</i>	オオバギ
<i>Machilus thunbergii</i>	タブノキ
<i>Maesa montana</i> var. <i>formosana</i>	シマイズセンリョウ
<i>Mallotus japonicus</i>	アカメガシワ
<i>Melastoma candidum</i>	ノボタン
<i>Melia azedarach</i>	センダン

<i>Meliosma oldhamii</i>	ヤンバルアワブキ
<i>Meliosma rigida</i>	ヤマビワ
<i>Morus australis</i>	シマグワ
<i>Mussaenda parviflora</i>	コンロンカ
<i>Myrsine seguinii</i>	タイミンタチバナ
<i>Oreocnide pedunculata</i>	ハドノキ
<i>Osmanthus insularis</i>	シマモクセイ
<i>Pandanus odoratissimus</i>	アダン
<i>Percea japonica</i>	ホソバタブノキ
<i>Pinus luchuensis</i>	リュウキュウマツ
<i>Pittosporum tobira</i>	トベラ
<i>Planchonella obovata</i>	アカテツ
<i>Podocarpus macrophyllus</i>	イヌマキ
<i>Premna microphylla</i>	ハマクサギ
<i>Psychotria rubra</i>	ボチョウジ
<i>Quercus glauca</i> var. <i>amamiana</i>	アマミアラカシ
<i>Quercus miyagii</i>	オキナワウラジロガシ
<i>Quercus salicina</i>	ウラジロガシ
<i>Rhamnella franguloides</i> var. <i>inaequilatera</i>	ヤエヤマネコノチチ
<i>Rhaphiolepis indica</i> var. <i>umbellata</i>	シャリンバイ
<i>Rhododendron tashiroi</i>	サクラツツジ
<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>	ヌルデ

<i>Sarcandra glabra</i>	センリョウ
<i>Schefflera heptaphylla</i>	フカノキ
<i>Schima wallichii</i> subsp. <i>noronhae</i>	イジュ
<i>Schoepfia jasminodora</i>	ボロボロノキ
<i>Stachyurus praecox</i> var. <i>matsuzakii</i>	ナンバンキブシ
<i>Styrax japonica</i>	エゴノキ
<i>Symplocos formosana</i>	アマシバ
<i>Symplocos glauca</i>	ミミズバイ
<i>Symplocos prunifolia</i>	クロバイ
<i>Syzygium buxifolium</i>	アデク
<i>Ternstroemia gymnanthera</i>	モッコク
<i>Toxicodendron succedaneum</i>	ハゼノキ
<i>Trema orientalis</i>	ウラジロエノキ
<i>Tricalysia dubia</i>	シロミミズ
<i>Turpinia ternata</i>	ショウベンノキ
<i>Vaccinium wrightii</i>	ギーマ
<i>Viburnum odoratissimum</i> var. <i>awabuki</i>	サンゴジュ
<i>Vitex negundo</i> var. <i>cannabifolia</i>	ニンジンボク
<i>Vitex rotundifolia</i>	ハマゴウ
<i>Wendlandia formosana</i>	アカミズキ
<i>Zanthoxylum ailanthoides</i>	カラスザンショウ

(9) 写真撮影日・場所 [\(目次へ\)](#)

以下に示すもの以外は、2015/9/7-10 に奄美大島(大浜・大和村湯湾岳周辺、龍郷自然観察の森、蒲生崎)で撮影。

ウラジロカンコノキ 2013/7/31 湯湾岳

カンコノキ 2006/9/29 鹿児島市寺山

拡大写真は 2015/9/7 大浜

クスノキ 1984/10/23 鹿児島市

ギーマの花 2015/4/16 龍郷

ギンネムの花 1974/3/29 西表島

サカキ 2012/09/02 屋久島

サクラツツジの芽 2015/10/10 蒲生崎

サクラツツジの花 2011/05/04 鹿児島市(栽培)

サザンカの枝 2014/5/10 開聞岳

サキシマフヨウの花 2015/10/9 住用

ノボタンの花 2013/7/31 湯湾岳

バリバリノキ 2014/10/16 紫尾山

ミミズバイ 2014/05/10 開聞岳

モクタチバナの幹 2009/10/15/ 屋久島

撮影者：鈴木英治

(10)参考図書 [\(目次へ\)](#)

琉球弧野山の花 from AMAMI. 片野田逸朗. 南方新社 (1999).

日本の野生植物 木本 I 及び II. 佐竹義輔他. 平凡社 (1989).

奄美群島植物目録. 堀田満. 鹿児島大学総合研究博物館 (2013).

九州植物目録. 初島住彦. 鹿児島大学総合研究博物館 (2004).

学名と科名は基本的に、「植物和名一学名インデックス YList」<<http://ylist.info/>>に従った。YList の分類体系は従来の Engler 式ではなく分子系統による APG 体系に従っている。

(11) あとがき [\(目次へ\)](#)

この図鑑には奄美大島やその周辺に分布する 110 種の樹木が載っています。まだ十分な種数とは言えませんが、低地の森林に分布する主な樹木は掲載されていると思います。野山に行く時には、非常事態に備える意味もあってスマートフォンなどを持っていく人が多いと思います。その中にこの図鑑を入れて、わからない樹木の名前を調べる参考にしていただければ幸いです。

ただし、まだ載っていない樹種も多く、改善すべき点も多いので、今後改訂版を作成しようと思います。ご

質問・ご意見などありましたら鈴木 (suzuki.age アットマーク gmail.com) までお寄せください。

この図鑑は平成 27 年度鹿児島大学運営交付金「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点形成」により作成されました。個人的に使われる場合自由にコピーしてください。ただし写真の所有権は鈴木英治にあります。写真だけ取り出して他の用途に使われる時などにはご連絡ください。

V. 1.1:V.1 とほとんど違わないが、語句のミス訂正と、説明の補足を少し加えた (2016 年 1 月)。

タイトル：スマホ用奄美の樹木図鑑

著者： 鈴木英治

発行所： 鹿児島大学総合研究博物館

発行年：2016 年 1 月 (Ver. 1.1)

Title: Main trees in Amami Island.

Author: Eizi Suzuki

Publisher: The Kagoshima University Museum.

Date: January, 2016



奄美自然観察の森